



第31回

春季特別展

「岡本太郎の世界展—現代アートの洗礼—」

岡本太郎(1911~96)はアバンギャルドの旗幟として戦後の美術界で圧倒的な存在感を放っていましたが、決して西洋の模倣や追随ではなく、文化人類学や古今の思想や日本の伝統文化を基礎とした独自の芸術活動でした。岡本太郎は、自己の芸術について「今日の芸術はうまくあってはならない、きれいであってはならない、こちよくあってはならないと私は宣言します。それが芸術の根本条件であると確信するからです」と言い、この言葉の中には芸術家としての自信と信念が凝縮されています。

岡本太郎はフランスのパリ大学に学び、ピカソ、カンディンスキー、アルプなどがいた非抽象グループ「アブストラクション・クレアシオン」に最年少で参加していました。ここではぐくまれた芸術家としての天賦の才は日本に帰ってから開花しました。創作活動は、絵画だけではなく彫刻や建築とその表現方法は広がり、生活造形デザインにまで及びました。特に有名なのは1970年に大阪府吹田市で行われた日本万国博覧会で、その中央会場に聳えた巨大モニュメント「太陽の塔」は38年後の今日でも圧倒的な存在感を見せています。

岡本太郎の芸術は時空を超越しているせいか、作品から放たれるエネルギーは一度体験す



「重工業」川崎市岡本太郎美術館所蔵

ると脳裏から離れることはないでしょう。本展は岡本太郎が歩んだ現代アートの世界を紹介します。

那珂川町馬頭広重美術館 学芸員 市川信也

【会期】 4月18日(金)~5月25日(日)

【ミュージアムトーク(展示解説)】

当館学芸員 4月26日(土)午後1時30分

【開館時間】 午前9時30分~午後5時まで  
(但し入館は4時30分まで)

【休館日】 4月21日、5月7日、12日、13日

【入館料】 大人 700円(630円)

高・大学生 400円(360円)

小・中学生 100円(90円)

※( )は20名以上の団体料金。小学生未満は無料。障害者手帳をお持ちの方・付き添い1名は半額。

ミニギャラリー  
作品募集!

あなたの作品をここに出品してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの作品をお待ちしております。

申し込み・問合せ:企画財政課

☎0287-92-1114

カタクリ(分たくり山公園)  
薄井 昭二さん(小川)



ミニ  
ギャラリー



紅白梅と菜の花(ふるさとの森公園)  
青木 信夫さん(小川)